

# 2024.7.31 第10回長崎県病弱虚弱教育研修会



7月31日（水）に大村市中地区公民館において、第10回長崎県病弱虚弱教育研修会が開催されました。長崎県内の病弱特別支援学校である諫早東特別支援学校、桜が丘特別支援学校、大村特別支援学校の教職員の先生方を中心にあくさんの参加者が集まりました。午前中は、心療内科新クリニックの臨床心理士、久富香苗先生に「児童生徒の見立て方と関わり方」(~ポリヴェーガル理論をもとに~)について講演していただきました。学校で関わる子どもたちが安心・安全を感じられる場を教職員が作り上げていくためには、やってはいけないこと・危険なこと、時間、行動の許容範囲などの「枠」を子どもに示すこと、子どもがつかずいたときのセーフティネットの準備、子どもの能力や耐性をしっかりアセスメントすることなどが大切だと再確認しました。

午後からは、桜が丘特別支援学校と大村特別支援学校が実践報告を行いました。各校での教育実践や取組についての発表があり、研究協議においては、グループでの活発な意見交換や有意義な情報の共有ができたと感じました。